

# 図書室 DAYORI

2019年5月号 No.2 国頭中学校図書室

5月の図書室目標  
一学期の読書計画や目標を  
たてよう!

## 年号が「平成」から「令和」へ そして、沖縄地方そろそろ梅雨入り…!?

5月1日に皇太子殿下の新天皇即位があり年号が「平成」から「令和」にかわりました。

年号は特定の時代につけられた称号のことで、「元号（げんごう）」ともいいます。

日本では飛鳥時代（592年～710年）から元号が使用されるようになったと言われていて、最初の元号は「大化」で（645年7月17日～650年3月22日）までです。

その後、長い歴史の中で数多くの元号が生まれ、明治・大正・昭和・平成と続き現在の「令和」に至ります。新元号の「令和」が決まるまでの間、多くの方が関心を持ち元号を予想して盛り上がっている様子がテレビでも放映されていました。現在、元号を使っている国は日本だけです。


また新元号の「令和」は万葉集の梅の歌から引用したと発表がありました。図書室にも関連した本がありますので是非借りて読んでみて下さい。


最近、安定しない天気が続いてなんだか梅雨入りの発表がありそうな予感がします。沖縄地方の梅雨入りは平年5月9日頃ですのでもうすぐ梅雨入りするかもしれませんね。梅雨になると雨の日が多くなるので教室や図書室で静かに本を読んで過ごしてみてもいいかかでしょうか？



## 雨の日に読みたい本



	いま、会いにゆきます 著者：市川拓司	分類：913
大好きだった妻の溺が亡くなって1年、身体にさまざまな不具合を抱えた巧は、町の小さな司法書士事務所に勤めながら、6歳になる一人息子の佑司とひっそりと暮らしていた。再び巡ってきた雨の季節の週末、いつもどおりの散歩に出かけた町はずれの森で、この父と子二人に奇跡が訪れる。哀しい未来を知りながら、それでも愛しい存在に向かって発せられる言葉。その深く強く優しい決意に、きっと心打たれるはずだ。		

	雨ふる本屋 作：日向 理恵子 絵：吉田 尚令	分類：913
おつかいの帰り、ルウ子は、カタツムリにさそわれて“雨ふる本屋”へ。出迎えてくれたのは、摩訶不思議な本と、ドードー鳥の店主と助手の舞々子、そして妖精たち。ドードー鳥の店主が、ここにある本は、人間に忘れられた物語に、雨をかけてできあがるという…。 「物語」への、愛と信頼をこめたファンタジー。		

毎月第3日曜日は『ファミリー読書の日』

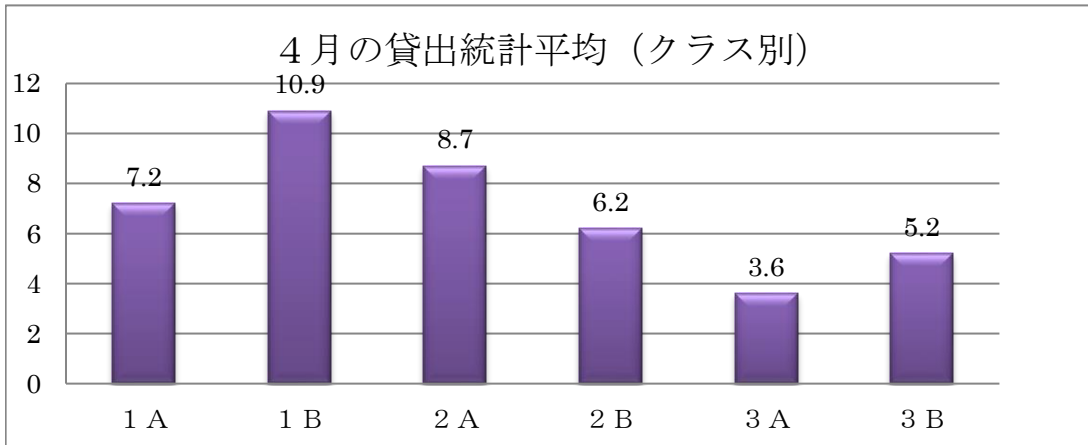
読書を楽しみ、読書に親しみ、読書を活かそう!



5月19日(日)



# 4月の図書貸出状況



4月の貸出は13日ありましたが、そのなかで0冊の生徒が数名いました。朝の読書に読む本はどうしていますか？なかなか読む機会が得られない人こそ毎朝10分の読書の時間は本に親しんでほしいと思います。読書で1日がスタートするのはとても素敵なことです。毎日の読書の積み重ねが大きな力になります。

静黙読書

●みんなでやる ●毎日やる ●好きな本でよい ●ただ読むだけ

## 栄養士の夏子先生おすすめのスポーツ栄養の本

	<p><b>長友佑都の食事革命</b> 著者：長友佑都</p> <p>30歳を目の前に、サッカー人生の岐路に立ち、見直したのが食事法の根本的見直し、自分のカラダを実験台に、良いという食材は全部取り入れた。朝はスムージー、食材の種類を増やし、アマニ油を積極的に摂った。3ヶ月後持病の胃腸の具合や花粉症が改善され、皮膚科通いの肌まできれいになった。疲労回復が早まり、何より試合中の集中力がアップ！僕は食事を武器にした。</p>
	<p><b>女子部活食</b> 著者：海老 久美子</p> <p>女子アスリートの体づくりをサポート！ その一口が体を作る。</p> <p>第1部では女子アスリートの栄養補給のポイントとなる項目と、その食事について丁寧に説明。第2部では元アスリートであり、管理栄養士でもある著者が海老研究室の大学院生達と一緒に考えた「海老研全力投球」レシピ集を掲載。</p>
	<p><b>野球食</b> 著者：海老 久美子</p> <p>球児たちよ、正しく食べて強くなれ！筋トレだけでは体は作れない。しっかり食べて大きく強くなろう！</p> <p>強い野球選手を目指すための「食」のすべて。メシを握れない選手はボールを握るな！選手の生活に合わせた実践メニュー集。</p> <p>選手に不足しがちな食材を使った簡単レシピなど掲載！</p>

## 今月のブックメニューは、「ジャコのお菓子な学校」！

	<p><b>ジャコのお菓子な学校</b> 分類：953</p> <p>作：ラッシュェル・オスファテール</p> <p>ジャコは食べることが大好き！お菓子の作り方のページを見つけて、初めて作ったクッキーはもう最高！お菓子作りのたびに、算数も長い文章もニガテじゃなくなってきた。ついにお菓子屋さんを始めたら、中学生たちがやってきて、大ピンチ！</p>
--	---

